

復刻版

全7巻・別冊1

# 観光朝鮮

(改題誌『文化朝鮮』を含む)

1939年〜1944年・朝鮮総督府鉄道局内日本旅行協会朝鮮支部

A5判・上製・総3、500頁

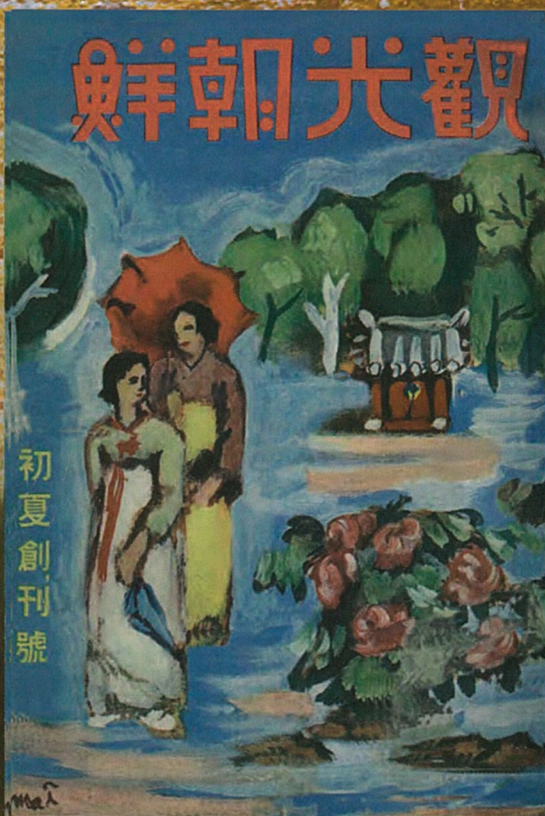
◎解説Ⅱ森田智恵(同志社大学大学院)

◎推薦Ⅱ水野直樹(京都大学名誉教授)

◎本体価格168、000円+税(全2回配本)

アジア・太平洋戦争下に刊行された植民地朝鮮の観光雑誌、全30号を復刻。

観光に特化した情報だけでなく、特集グラフィック、紀行文、読切小説、漫画やコントといった娯楽欄、読者投稿欄等から構成されており、また、著名な文筆家や研究者たちが文章を寄せており、戦時期の朝鮮における文学及び学術研究の様相を検討するうえでも貴重な資料である。



▲ 第1巻第1号(創刊号)



▲ 第3巻第4号

クレス出版



『観光朝鮮』『文化朝鮮』復刻版 推薦文

「観光」「文化」—いかにもモダンな響きをするタイトルの雑誌が発行されていたのは、1939年から1944年までのこと、日中戦争、アジア太平洋戦争の真っ只中である。しかも、観光と文化紹介の対象は植民地朝鮮であったから、「オリエンタリズム」の匂いが漂うのは避けられない。いってみれば、モダン、戦争、植民地主義の要素が複雑にからまった当時の朝鮮社会を、この雑誌は反映しているのである。

朝鮮総督府鉄道局内に置かれた日本旅行協会朝鮮支部から出ていたこの雑誌には、人（ほとんどは日本人）を朝鮮観光に誘（いざな）い、朝鮮文化を紹介する文章だけではなく、戦時体制において植民地朝鮮が果たすべき役割を強調する文章も多く掲載されている。しかし、それだけではない。朝鮮の作家として広く知られていた金史良や張赫宙などの作品が掲載され、村山知義や田中英光など日本の文学者の名前も見える。朝鮮で発行される雑誌が少なくなっていた時期だけに、朝鮮の芸術・文化をめぐる諸相を知る手掛かりとなるものである。

『観光朝鮮』『文化朝鮮』は所蔵機関が少なく、欠号も多かったため、これまで研究に利用されることもあまりなかったが、今回、完全な状態で復刻されることは、戦時期の朝鮮の政治、社会、文化など諸領域の研究を大いに促すものになると信じている。

水野直樹（京都大学名誉教授）

◎特集一覽

巻号	創刊号
第1巻第1号	創刊号
第1巻第2号	新秋号 金剛山特集号
第1巻第3号	深秋号
第2巻第1号	新年特集号
第2巻第2号	早春号
第2巻第3号	芳春号 鬱陵島特集
第2巻第4号	清夏号
第2巻第5号	爽秋号 京城特集
第2巻第6号	銀風号 扶余特集
第3巻第1号	新年特別号 平壤特集
第3巻第2号	玲春号 地下資源特集
第3巻第3号	佳春号 慶南地帯特集
第3巻第4号	春風号 濟州島特集
第3巻第5号	春秋号 楽浪地帯特集
第3巻第6号	春雁号 水豊ダム特集
第4巻第1号	新年特別号 高周波とマグネサイト特集
第4巻第2号	春雪号 黄海地域の鉱産特集
第4巻第3号	新緑号 小鹿島厚生園特集
第4巻第4号	緑蔭号 小磯監督を迎へる 三涉生産園特集
第4巻第5号	初冬号 米の朝鮮
第4巻第6号	緑蔭号 小磯監督を迎へる 三涉生産園特集
第5巻第1号	新春号 朝鮮の緬羊
第5巻第2号	浅春号 戦ふ森林
第5巻第3号	初夏号 徴兵制に備へて錬成する半島青年
第5巻第4号	戦ふ朝鮮演劇
第5巻第5号	特集 敢闘する朝鮮鉄道従事員
第5巻第6号	半島学徒の決意を訊く座談会
第6巻第1号	早春号 航空決戦と半島
第6巻第2号	新緑号 軽金属増産へ邁進する朝鮮
第6巻第3号	盛夏号 戦下半島に躍起した女性群
第6巻第4号	初冬号 敵国降伏

内容見本

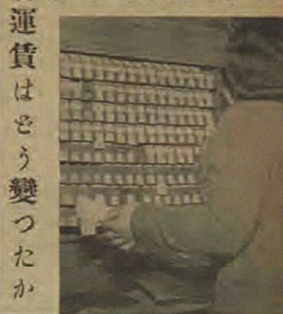
古美術を借しむ

村山知義



朝鮮の古美術は、その歴史の長きにわたって、独自の発展を遂げてきた。その中でも、木造建築は、その美観と堅固さから、人々の心を魅了してきた。特に、高麗時代の建築は、その洗練されたデザインと、自然との調和が、後世に大きな影響を与えた。この雑誌では、そうした古美術の魅力を、最新の視点から紹介し、現代の建築やデザインにどう活かせるかを、読者に伝えることを目指している。

朝鮮鐵道の旅



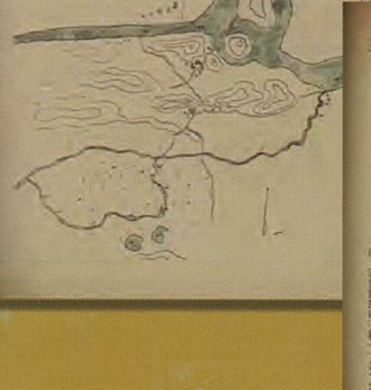
朝鮮鐵道局 漢城府 客運部

京城周辺の釣り場

高田 凡魚

京城周辺の釣り場は、その豊かな自然環境と、長い歴史によって、釣り愛好者にとっての宝庫となっている。ここでは、季節ごとの魚の動きや、釣り場の特徴を詳しく紹介し、読者に最適な釣り場を見つけるためのヒントを提供している。また、釣り道具の選び方や、釣り場のマナーについても、初心者から上級者まで、幅広く解説している。

釣りは、自然と親しむだけでなく、心身の健康を維持するための良き娯楽である。京城周辺の釣り場は、その魅力を最大限に引き出すための情報を提供し、読者の釣り体験をより充実させることを目指している。ぜひ、この雑誌を参考に、京城周辺の釣り場を堪能してほしい。



京城周辺ハイキング列車時刻表

区間	乗車券	特等車	一等車	二等車
1. 漢城 - 京畿	4.50	8.00	6.00	4.50
2. 漢城 - 仁川	6.00	11.00	8.00	6.00
3. 漢城 - 釜山	12.00	22.00	16.00	12.00
4. 漢城 - 大邱	18.00	32.00	24.00	18.00
5. 漢城 - 大田	14.00	26.00	19.00	14.00
6. 漢城 - 光州	20.00	36.00	28.00	20.00
7. 漢城 - 全州	16.00	30.00	22.00	16.00
8. 漢城 - 春川	12.00	24.00	18.00	12.00
9. 漢城 - 原州	8.00	16.00	12.00	8.00
10. 漢城 - 清津	24.00	44.00	36.00	24.00
11. 漢城 - 南浦	20.00	40.00	32.00	20.00
12. 漢城 - 咸興	16.00	34.00	26.00	16.00
13. 漢城 - 元山	12.00	28.00	22.00	12.00
14. 漢城 - 南浦	8.00	18.00	14.00	8.00
15. 漢城 - 咸興	4.00	10.00	8.00	4.00

ハイキング割引運賃表	区間	運賃	備考
1. 漢城 - 京畿	4.50	1日以内	
2. 漢城 - 仁川	6.00	1日以内	
3. 漢城 - 釜山	12.00	1日以内	
4. 漢城 - 大邱	18.00	1日以内	
5. 漢城 - 大田	14.00	1日以内	
6. 漢城 - 光州	20.00	1日以内	
7. 漢城 - 全州	16.00	1日以内	
8. 漢城 - 春川	12.00	1日以内	
9. 漢城 - 原州	8.00	1日以内	
10. 漢城 - 清津	24.00	1日以内	
11. 漢城 - 南浦	20.00	1日以内	
12. 漢城 - 咸興	16.00	1日以内	
13. 漢城 - 元山	12.00	1日以内	
14. 漢城 - 南浦	8.00	1日以内	
15. 漢城 - 咸興	4.00	1日以内	



作家の感懐と京城張赫宙

張赫宙は、その独特の視点と、鋭い筆致によって、朝鮮の社会と文化を深く描き出した作家である。彼の作品は、単なる社会批判にとどまらず、人々の内面に目を向け、その苦悩と希望を、読者の心に届けることに成功している。この雑誌では、張赫宙の作品を通じて、朝鮮の真実を知り、その未来を共に考えることを目指している。



# 観光朝鮮・文化朝鮮

「復刻版」全7巻別冊1

体裁ⅡA5判・上製

別冊Ⅱ解説(森田智恵)

推薦Ⅱ水野直樹

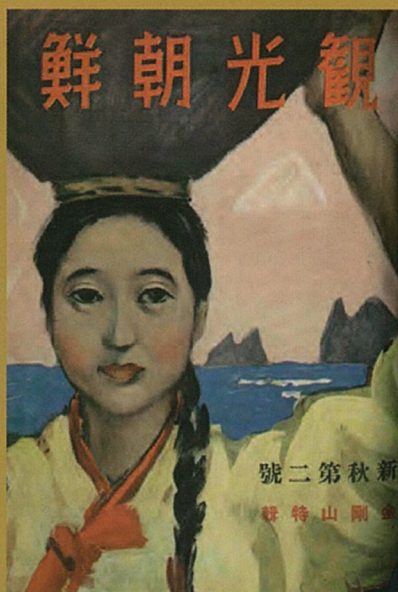
揃定価Ⅱ本体168,000円+税

\*別冊のみ分売可Ⅱ1,000円+税

ISBN 978-4-866670-109-4-16

## ◎配本概要

第2回配本				第1回配本			配本	
別冊	第7巻	第6巻	第5巻	第4巻	第3巻	第2巻	第1巻	復刻版 巻数
解説・総目次	第6巻第1号〜第6巻第4号	第5巻第3号〜第5巻第6号	第4巻第3号〜第5巻第2号	第3巻第4号〜第4巻第2号	第2巻第6号〜第3巻第3号	第2巻第2号〜第2巻第5号	第1巻第1号〜第2巻第1号	収録号
本体96,000円+税 ISBN 978-4-86670-093-9 2021年1月刊行予定				本体72,000円+税 ISBN 978-4-86670-092-2 2020年10月刊行			価格・ ISBN	



株式会社 クレス出版

〒103-0001

東京都中央区日本橋小伝馬町14-5 ×ローナ日本橋

☎(03)3808-1821 FAX(03)3808-1822 <http://www.kress-jp.com/>

表示価格はすべて税別